

# 東京2020パラリンピックを終えて

## 花岡 伸和

9月5日、東京2020パラリンピックが閉幕しました。本市出身の車いす陸上競技の元トップアスリートであり、現在、日本パラ陸上競技連盟副理事長として、また、パラ陸上競技のNHK解説者として、パラリンピックに携わってこられた花岡 伸和さんから、パラリンピックやパラスポーツへの思いにつき寄稿をいただきました。



2013年に故ジャック・ロゲ伯爵が「TOKYO」と2020年のオリンピック・パラリンピック開催地を発表してから8年間、大会エンブレム疑惑、国立競技場デザイン変更、関係者同士のひっぱり合いでの交代劇、そしてコロナ禍による延期とパンデミック下での実施……。そんな数々の紆余曲折を経て開催された東京2020大会が9月5日に閉幕しました。

世界から集まる観客という重要なピースが抜けたパズルのような大会でしたが、アスリートたちは人間の可能性を余すことなく体現し、画面越しとはいえ多くの人々が心震える瞬間に立ち会えたことには素晴らしい時間であったと思います。しかし同時に、「未来は思い描けるがその通りになるとは限らない」ことをまざまざと見せつけられた、そんな大会でもあったように感じます。

こんな時にオリパラどころではない、そんな声もある中で、の大会にどんな意味があるのか、祝祭感が失われたことであらわになった利権まみれの五輪をスポーツウオッシュで片付けて良いのか、オリンピック閉幕後にパラリンピックの一解説者として大会を伝える側になることは正直、不安と自己否定に近い感情と向き合うことでもありました。

そんな折、富田林で居酒屋を営む同級生から電話をもらいました。電話の向こうで彼は「いま店もめっちゃ大変やしオリリンピックもええわ思ってたけど、見たら元気出たわ！パラリンピックも見ると花岡も頑張りや！」と恨み節ではなく励ましを語ってくれたのでした。



現役時の花岡選手

花岡 伸和さん  
富田林市出身、高校3年時にバイク事故で脊髄を損傷し、車いす生活に。翌年、車いす陸上競技と出会い、競技を開始。  
・2004年 アテネパラリンピック、マラソンで6位入賞  
・2012年 ロンドンパラリンピック、マラソンで5位入賞、同時に陸上を引退  
・現日本パラ陸上競技連盟および関東パラ陸上競技協会副理事長  
・本市「ふるさと富田林応援団」団長にも就任いただいています